

美しい音楽と空間を味わうタベ —— 聖クララ教会の新春文化コンサート2015

2015年2月17日(火)

年に一度開催されている**聖クララ教会**（与那原カトリック教会）の新春文化コンサート。今年
は2月11日に行われました。昨年は観客のひとりとしてコンサートの様子をご紹介しましたが
が、今回、主催者サイドに少しお話が聞けたので、それをお伝えしたいと思います。

聖クララ教会については、以下の過去記事も参考にしてください。^^



●響き渡る弦楽器の音色に心癒される

—— 聖クララ教会の新春文化コンサート2014

<http://yonabaru-too.com/event/12478.html>

●与那原で多くの建築家と建築ファンが訪れる場所といえば…

<http://yonabaru-too.com/walk/6678.html>

●聖クララ教会のラサール神父とおしゃべりした話

http://yonabaru-too.com/staff_blog/12002.html

この新春文化コンサートの主催者は**公益社団法人 沖縄県建築士会 島尻支部**。

すでに何度かご紹介していますが、聖クララ教会は2003年に「**日本の近代建築100選**

（DOCOMOMO100選）」に選ばれています。建築にそんなに興味がない方はピンとこないか
もしれませんが、沖縄から100選の中に選ばれた建物は、この聖クララ教会だけといえば、その
価値は推して知るべし。

○DOCOMOMO Japan→ <http://www.docomomojapan.com/>

さて、そんな素敵な建築物が地元にあることをもっと多くの人
たちに知ってもらおうとはじめられたのが、この聖クララ教会
での新春文化コンサートでした。2007年のことです。その発起
人で、当時の島尻支部長でもあった**根路銘安史さん**（写真右）
にまずはお話を伺いました。

教会を知ってもらう方法としてコンサートという方法を選んだ
理由は「建築に興味がない人にも足を運んでもらいたかったか
ら。コンサートの際には教会や修道院スペースの公開もしてい
ますが、もしも見学だけだったら建築に興味がある人しか来な
いでしょう?」。確かにそうですね～。

そこで、現在の出演者でもある音楽家の**海勢頭さん**に相談した
ところ、快く協力して下さり、この新春文化コンサートがス
タートしたそうです。最初は教会側にとってもはじめての試みだったので、スムーズにいったと
はいいい難い部分もあったようですが、年を重ねるごとに周知されるようになり、次第に入場者も
増え、今回で9回目を迎えるまでになりました。



バックナンバー

美しい音楽と空間を味わうタベ —— 聖クラ
ラ教会の新春文化コンサート2015

2015年2月17日(火)

与那原で100年目を祝おう！ —— 軽便鉄道
開通100周年

2015年1月24日(土)

響き渡る弦楽器の音色に心癒される —— 聖
クララ教会の新春文化コンサート2014

2014年2月13日(木)

沖縄県立芸大生による「よなばの特産品開発
発表会」へ行ってきました。

2013年2月15日(金)

与那原大綱曳、9月に再登場！

2012年9月4日(火)

ここをチェック！ —— 初心者向け 与那原
大綱曳のツウな楽しみ方

2012年8月2日(木)

まつりの季節がやってきた～！

2012年6月3日(日)

軽便ロードトレインと山盛りイベントで綱が
った！

2012年2月27日(月)

ちゃんぶる～市×軽便市の“スタンプ企画”に
注目！

2012年2月4日(土)

楽しいコラボ♪ 綱がる軽便市×綱がるちゃ
んぶる一市

2011年12月11日(日)

与那原えびす通りに「朝市」が立つ！

2011年11月30日(水)

与那原のあるアツイ日 —— ちゃんぶる～
市とユナバルンチュ歓迎の集い

2011年11月15日(火)

「愛隣園福祉バザー」で掘り出し物を探せ！

2011年10月7日(金)

とにかくアツかった～与那原まつり

2011年8月8日(月)



来年はいよいよ10回目。「もちろん今後も開催されますよね？」という問いかけに関しては、現島尻支部長の**大城満昭**さん（写真左）が「大丈夫！ 続けていきます！」と力強く回答してくださったので、期待してよさそうです。

今後の新たな展開として、教会の設計者である片岡献氏について、追跡調査をするようなアイデアも挙っているようです。聖クララ教会といえば「設計は片岡献」と、いろんなところで紹介されていますが、実は片岡氏についての詳細はよくわかってないのだとか。最初は通訳として関わることになったという説もあるようで、興味がそそられます。片岡氏についての新たな情報がわかれば、聖クララ教会やそれにまつわる地元の新たな歴史もひも解かれるかも？ 楽しみです。

ちなみに、大城さんは昨年まではずっと駐車場係だったため、今までちゃんとコンサートを見ることができなかったとか！ 支部長として迎えた今回は、じっくり演奏を楽しまれたでしょうか？

もう一人、昨年に引き続き今回も来賓挨拶を担当してくださった**DOCOMOMO Japan**前幹事長の**兼松紘一郎**さん（写真右）にもお話を伺うことができました。



兼松さんがはじめて聖クララ教会を訪れたのは、日本の近代建築100選に正式に選ばれる前年。知り合いの若い設計士に誘われたのがきっかけで訪れて、非常に感銘を受けたそうです。その後、明治大学の大学院で行われていた文化人類学の渡邊欣雄教授の講座を聴講した縁もあって、沖縄には度々訪れているとか。根路銘さんのお話によれば、実際にこの修道院に宿泊してみたこともあるようで、建物に対する本気度が伺えます。聖クララ教会の素晴らしいと思うところをひとつ挙げてくださいますと、「デザインの潔さ」を挙げられました。

「建築家というものは、どうしても自分らしさを建物に入れて、自分の存在というものをアピールしがちだが、この聖クララ教会にはそういう部分を感じられない。自然体のままの建築であるというところが素晴らしい」とのこと。

7月は“与那原大綱曳月間”です！

2011年7月1日(金)

6月は当添ハーリーに、ちゃんぷる～市も♪

2011年6月1日(水)

アプシバレーから始まる与那原大綱曳

2011年5月19日(木)

再び。ちゃんぷる～市

2011年3月8日(火)

子ども会まつりに家族で参加しよう！

2011年2月16日(水)

みんなで与那原を歩こう！

2011年1月20日(木)

2011年もパワフル・ヨナバル！

2010年12月26日(日)

イルミネーションにイベントにワクワクいっぱい12月♪

2010年12月4日(土)

第11回 あかぎフェスティバル「くるくる町」

2010年11月9日(火)

エコマネーでお買い物。「くるくる町」開店！

2010年10月30日(土)

秋の薫りに誘われて、芸能・文化に触れてみませんか？

2010年10月21日(木)

第19回 バウンドテニス大会

2010年9月30日(木)

バウンドテニスでいい汗かきませんか？

2010年9月17日(金)

旧盆エイサー後記 <板良敷編>

2010年9月6日(月)

旧盆エイサー後記 <当添編>

2010年8月30日(月)

旧盆は、当添&板良敷エイサーをオツカケよう！

2010年8月20日(金)

Yunaが紙のワークショップをやるよ！

2010年8月2日(月)

8/7(土)・8(日)は与那原まつりへ！

2010年7月29日(木)

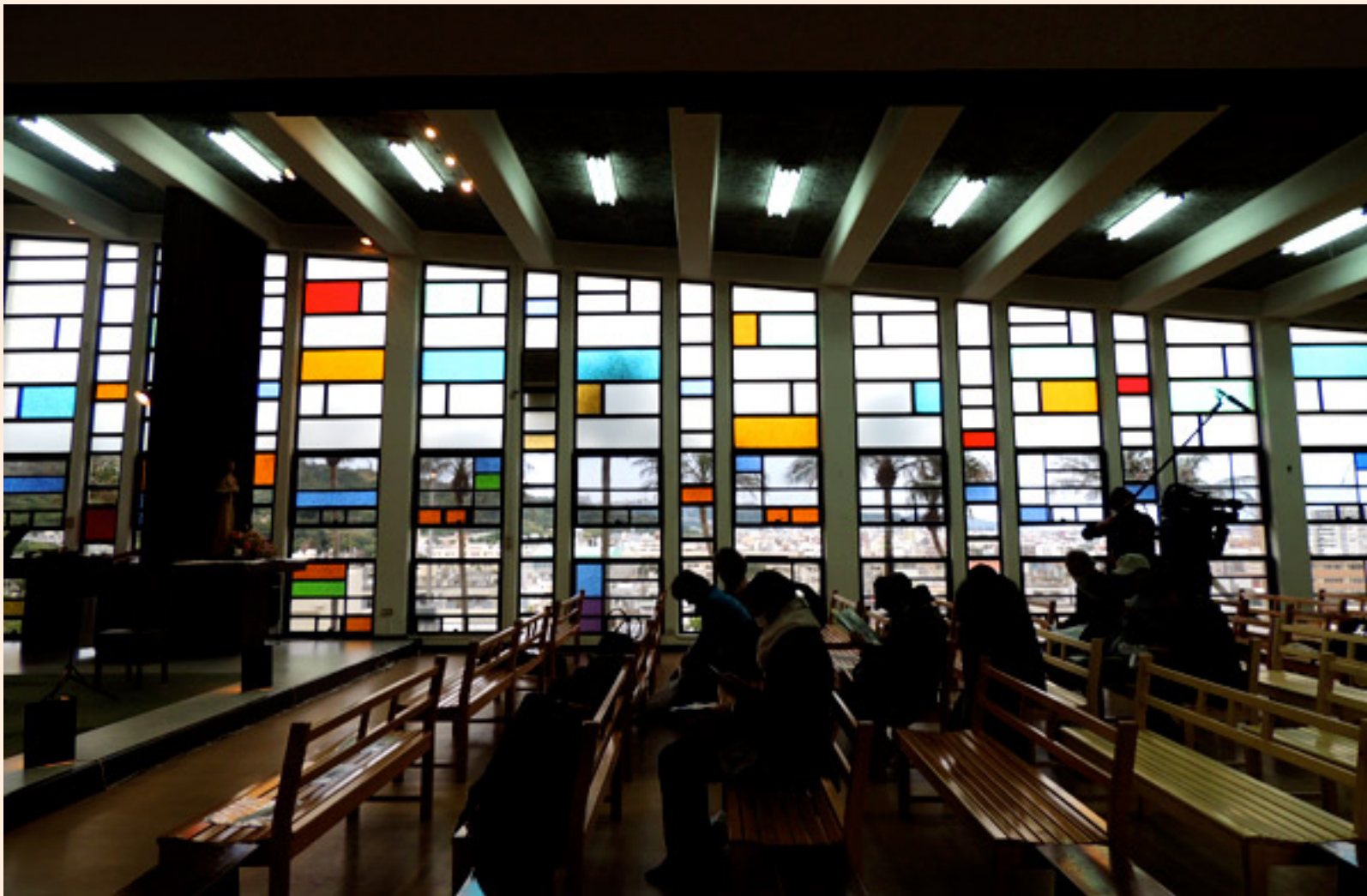
青年カーニバルin与那原

2010年7月16日(金)

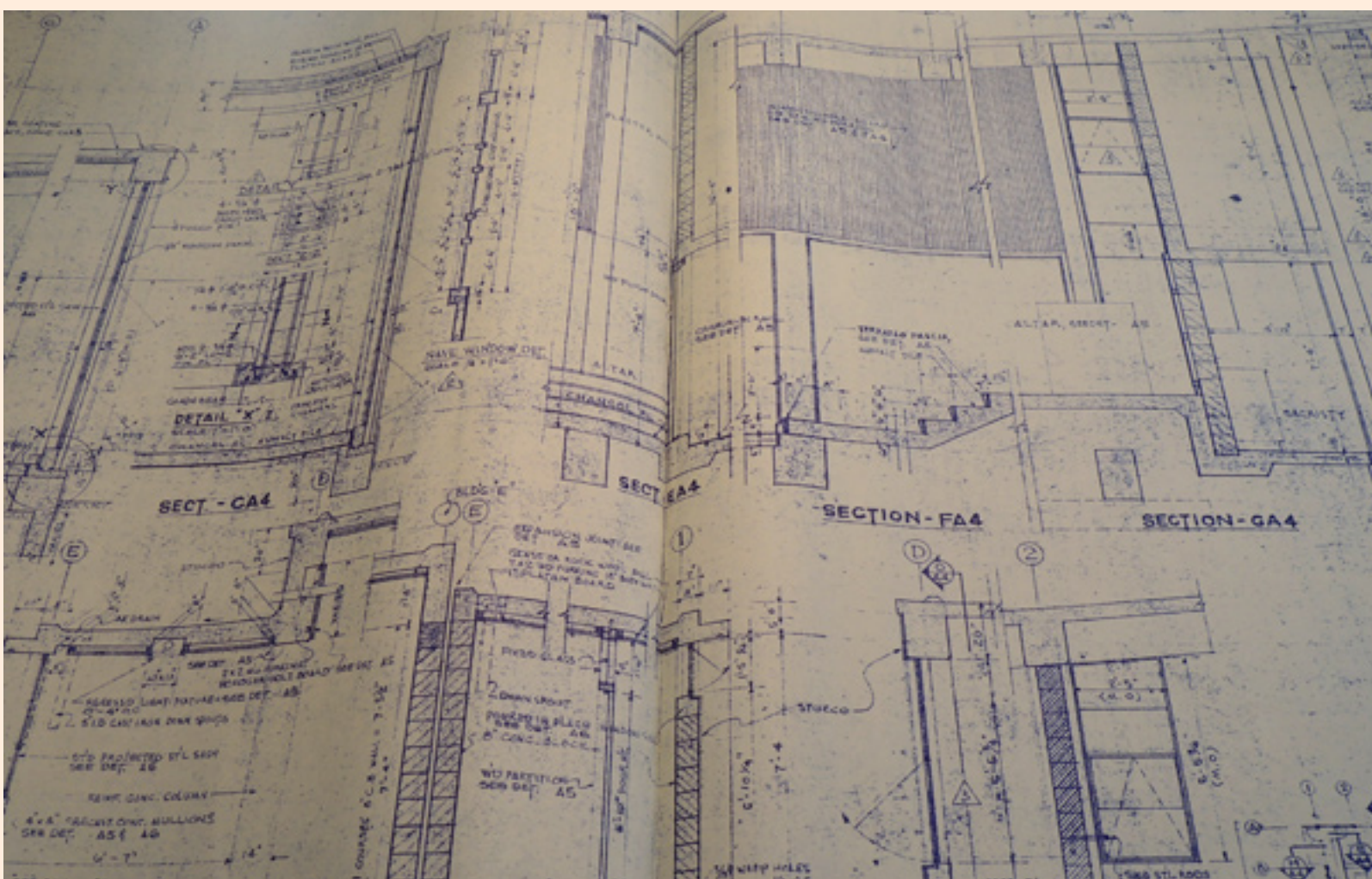


▲受付が設置された正面入口より中へ

開演1時間前になると、次第に人が増えてきました。演奏前の時間を利用して修道院スペースの見学を楽しむ方も多かったです。この日はテレビ局の取材も入っていて、さまざまな場所で撮影が行われていました。



▲少しずつ増えてきた来場者。その右奥ではテレビの取材班が撮影中



▲会場に展示してあった当時の設計図

開演時間は午後7時。お話を伺った大城さん、兼松さん、そして与那原町の**富山健**教育長の挨拶の後、演奏が始まりました。今年は演奏者全員が女性で（うち2名が与那原町民とのこと）、見た目も非常に華やか。



プログラムの第一部は、モーツァルトとヴィヴァルディの曲で、昨年と同じくクラシック中心。今回はフルートの演奏者が加わっていたこともあり、曲によっては弦楽器だけでなくフルートの音色も楽しめました。

この日の演奏者
（※プログラムより）

海勢頭 愛（ヴァイオリン・ヴィオラ）
新垣 好美（ヴァイオリン）
石川 文乃（ヴァイオリン）
吉川 えりな（ヴァイオリン）
眞榮田 えり子（フルート）
具志堅 真紀（チェロ）
奥平 めぐみ（ピアノ）



▲演奏者と音楽に聴き入る満席の聴衆

第二部は、冬の歌メドレーからはじまり、その後は沖縄民謡や（演奏者である海勢頭愛さんの父親でもある）海勢頭豊氏の曲など。その中で、昨年も演奏された「与那原綱引き歌」はやはり素晴らしかったです。力強く軽快な演奏に今回も心を動かされました。また、プログラムにはなかった「アナと雪の女王」の「Let It Go」の演奏もありました。皆、聴き入っていましたね。



第一部と第二部の演奏前に、近くに座られていた方にも声をかけてみました。

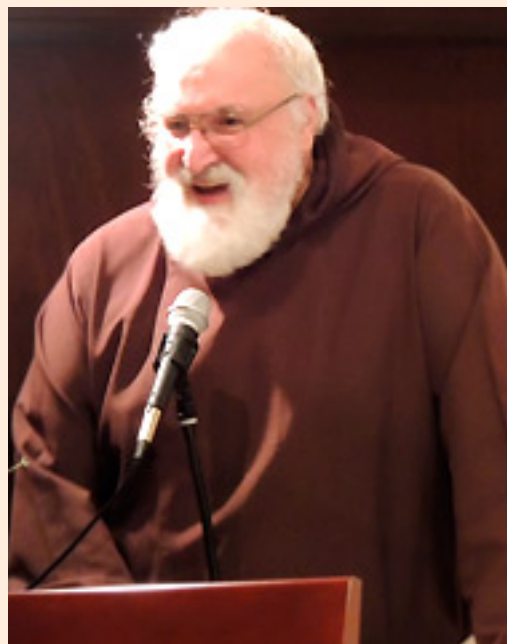
お一人はなんと嘉手納から来られた方でした。建設業であるお仕事つながりでチケットを購入したのだとか。建築関係者だけあって、日本の近代建築100選に選ばれている聖クララ教会のことはよく知っていたそうです。ただ、実際に中を見たのは今回がはじめて。コンサートについては「ん～、自分が普段聞き慣れてない音楽だからねえ、なんとも…」とやや言葉を濁されましたが、建物の見学についてはとてもよかったと話されていました。

もうお一人は、現在与那原在住だという男性。この新春文化コンサートははじめて。今回、弟さんに誘われて来てみたとのこと。ただ、修道院に伯母さんがいるので、教会には昔何度か来たことがあるそうです。「昔は安謝に住んでいたけれど、当時、与那原といえばこの教会のイメージだった」とか。「演奏

が素晴らしいね～」とコンサートを満喫している様子でした。

この日はアンコールの2曲を終えて、すべての演奏が終了しましたが、最後にもうお一方ご紹介しておきましょう。

それは、この日の閉会の挨拶をした**ウェーン神父**（写真右）。この春こちらに留任された神父さんです。（以前ご紹介したラサール神父は天久のカトリック文化センターに異動された模様。）美しい音楽と共に平和な時間を過ごせたことに対する感謝の言葉が印象的でした。



ところで、このウェーン神父、挨拶の第一声がなかなかうまかったのですよ。それは「え～、わたしはサンタクロースではありません！」という一言。（いや、どう見てもサンタさんっぽい～。 °Д°）この最初の一言で会場の人々の心をつかんでいましたね（笑）。

さて、なんだかんだと忙しい日々の中、今年も美しい音楽と空間で心洗われるようなひとときを過ごすことができました。それは、取材の際に何度も耳にした「**空間を味わう**」という言葉を実感できたひとときでもありました。こうしたささやかな体験が、その空間を愛おしむ気持ちへつながり、聖クララ教会がこれからますます多くの方々に大切にされていく場となることを願っています。




新春文化コンサートは来年も2月に開催予定とのことです。まだ行かれたことのない皆さん、機

会があれば、ぜひ一度行ってみてください。

来年のコンサートの情報は以下のサイト等で。

- 公益社団法人 沖縄県建築士会 <http://shikai.or.jp/>
- おきなわ建築Web www.okinawa-kentikuweb.com/

写真・文 fuu

 いいね! 124 [Tweet](#)

[過去の記事](#)

[▲ページの上にもどる](#)